

1. 件 名：日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅからの緊急時  
対策支援システムへの伝送異常に対する原因と対策について

2. 日 時：令和2年2月6日 13:01～14:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、宮地防災専門官、岡村係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀廃止措置実証部門

敦賀廃止措置実証本部 廃止措置推進室 技術副主幹 他1名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和元年9月28日に発生した緊急時対策支援システム（ERSS）の伝送不具合について、資料1に基づき原因と対策について説明があった。

原子力規制庁より、原因と推定されるL3スイッチとSPDS伝送サーバ間にあるメディアコンバータを撤去したとのことだが、この間にはその他の装置もありこれらに問題が無いのか確認すること、不具合等が生じた場合であっても伝送が継続できるよう独立した2重化構成になっているのか確認するように伝えた。

日本原子力研究開発機構から、再度調査して回答するとのことだった。

6. その他

配布資料：あり

資料1 ERSSへのプラントデータ等の伝送停止（日本原子力研究開発機構）